

第2回授業力向上セミナー ～ご参加ありがとうございました～

都城市内の小中学校の教職員が講師となって、学習指導の一層の充実と児童生徒の学力の向上を目的とした第2回授業力向上セミナーを11月1日（火）に各講師の所属校で実施しました。今回は、夏季休業中にGIGAスクール関係の校内研修が進んだ中で、学習指導要領の目標を押さえ、協働的な学びにICT活用を図った取組を多く紹介しました。また、後半では、今後の指導にGoogleアプリのスライドやジャムボードを効果的に活用する演習や協議を行い、参加された先生方に協働的な学びを体験していただきました。それでは、運営にあたった研究所員の感想をもとに各セミナーの様子をお伝えします。

小学校 国語科 講師 都城市立五十市小学校 教諭 小西 直也



言葉による見方・考え方について、具体的な例を交えながら教えていただきました。それを踏まえた模擬授業が授業づくりの参考になりました。また、子どもたちが国語科の学習をこれからの自分に生かせるように行っている多数の取組を紹介していただきました。参加者は明日から使える実践を知り、今後に生かそうという意識が高まっている様子でした。
(報告：研究員 丸野小 向井 永吉)

中学校 国語科 講師 都城市立高城中学校 教諭 木下 喜史



前半では、主体的な学びを引き出す授業の取組として、単元計画を提示され、ゴールを明確にしながら授業を行うことの大切さを学びました。後半では、これから授業する予定の教材研究を行いました。単元計画を立てながら、授業のどこでスライドやジャムボードなどのアプリを活用していくのかをグループで協議しました。受講者同士で意見交換と教材研究を行うことで協働の大切さも実感できたようです。
(報告：研究員 西中 矢野 善隆)

小学校 理科

講師 都城市立麓小学校 教諭 佐野 工

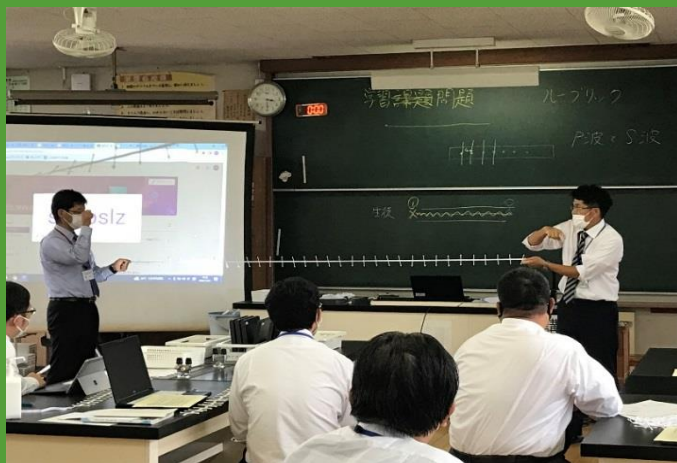


全国学力・学習状況調査結果の分析をもとに、理科教育で子どもたちに身に付けさせたい力について、「問題の解決過程で根拠をもって自分の考えを自分の言葉で説明できるようにすることが大切である」と教えていただきました。そのため具体的な授業モデルやジャムボードに貼り付ける図形の編集の仕方等の実践的な活動、プログラミング教材の紹介等もあり、大変参考になりました。

(報告：研究員 西小 比江嶋 哲)

中学校 理科

講師 都城市立小松原中学校 教諭 金丸 靖臣



新学習指導要領のポイントやデジタル教科書をはじめとした効果的な ICT の活用事例について、丁寧に教えていただきました。演習では、綿棒とゴム紐を使った実験装置づくりを行い、「地震のゆれの秘密」を解明しました。参加者は、生徒の気持ちになって生き生きと体験的に学ぶことができていた様子でした。

(報告：研究員 中郷中 茨木 美沙希)

授業における ICT 活用

講師 都城市教育研究所 ICT 活用研究班

教諭 齊藤 隆志(西中)

教諭 原 圭史(南小)

教諭 川野 泰寛(梅北小)

教諭 根井 惇(明道小)



今後の ICT 教育の動向や情報モラル教育、Google アプリの使い方など、明日から直ぐに ICT を授業に活用できるような内容で行われました。また、講師と受講者が 1 対 1 で ICT 活用の課題を解決する時間が設定され、受講者も喜ばれていたようです。

(報告：研究員 西中 齊藤 隆志)

▲▼▲▼本通信でお気づきのことや研究に関する問合せ等、御遠慮なくお電話ください。▼▲▼▲

都城市教育研究所(市役所南別館3階) 所長 曾原 良平 電話 23-7167(直通)